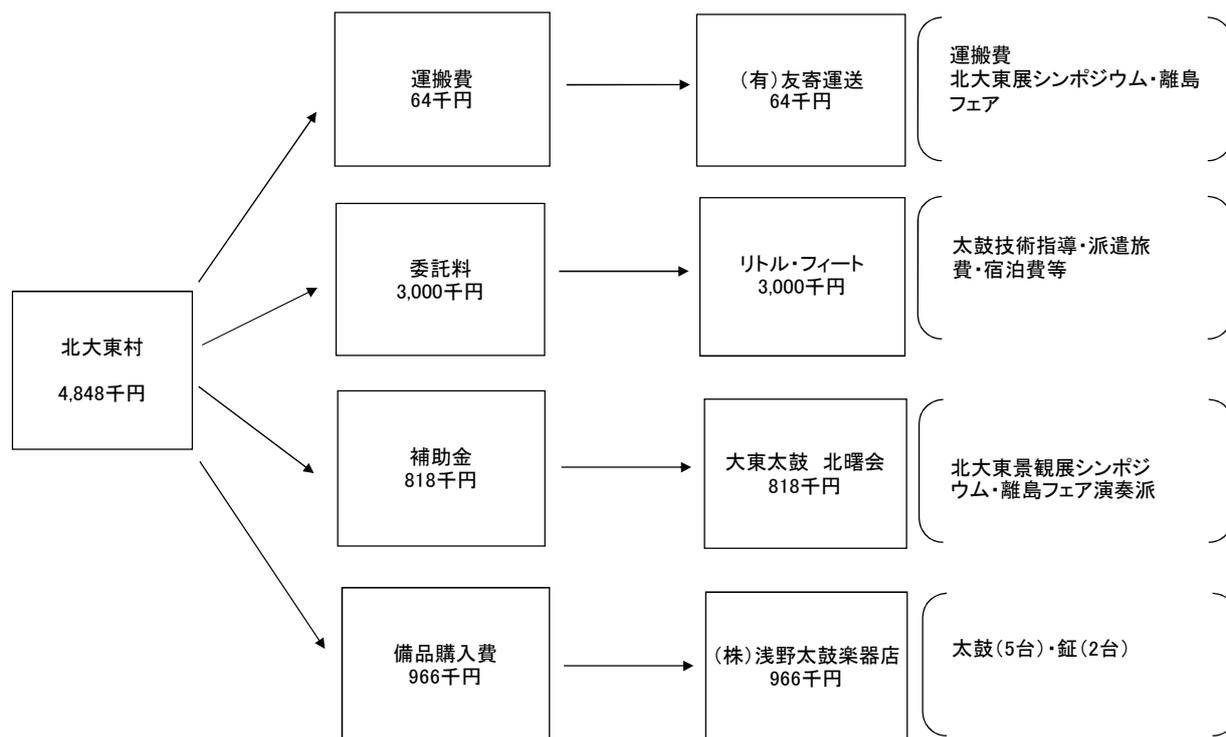


市町村名		北大東村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域の観光文化資源の担い手育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ	
担当部課名	企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島を支える多様な人材の育成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+「市町村負担」ベース〕			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000	6,000	7,000	7,000	
		(b) 予算現額	1,960	5,484	7,000	7,000	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,040	▲ 516	0	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		1,960	5,484	7,000	7,000	
	B. 執行済額		1,960	5,481	5,829	4,848	
	うち交付金充当額		1,568	4,384	4,663	3,878	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%	83.3%	69.3%	
予算の状況の説明		・文化交流イベント(県外)未実施の為、負担金・補助及び交付金に不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・大東太鼓担い手育成練習回数:9~10日/年	目標	()	()	()	(9~10日/年)	
		実績				延べ数:9日	
	・演奏備品購入:太鼓(1台)・鉦(1本)	目標	()	()	()	(太鼓(1台)・鉦(1本))	
		実績				太鼓(5台)・鉦(2本)	
	・文化交流イベントの開催:5回(県外:1回・県内:4回)	目標	(5回)	(5回)	(5回)	(5回)	
実績		5回	5回	5回	6回		
達成状況説明	島内での太鼓指導を年間三回にわたって行い、子ども達の健全育成・文化継承。更にはUターンした若者への指導を実施し、担い手育成(太鼓後継者)を行った。県外イベントは未実施であったが、村内行事(地域職員歓送迎会、大東宮祭、敬老会:4回)・県内行事(北大東景観展シンポジウム、離島フェア・開催期間2日間の演奏出演)への太鼓交流事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	・文化資源の担い手育成数:1人	目標	(0人)	(1人)	(1人)	(1人)	()
		実績		1人	1人	1人	
	・文化交流イベントの参加者数:40人(1回)	目標	(0人)	(40人)	(40人)	(40人)	()
		実績		40人	40人	40人	
進捗状況説明	イベント参加・交流事業の実施(北大東景観展シンポジウム)(18人)・(離島フェア演奏)(22人)により、他団体との太鼓交流を通しての繋がりや子ども達の健全育成、本島での合同練習指導において文化継承・担い手の育成(1人)がなされた。又、伝統文化・島の魅力を発信した事によって、沖縄本島内・外からの誘客促進と観光振興に大きく貢献した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>今年度事業実施(シンポジウム・離島フェア参加)に向け派遣選定基準・人数制限等が問題点・課題となった。(太鼓会員が約45人)①毎年度の会員入替(卒業・入会・退会)を含め、保護者会への活動趣旨の説明と理解を求めなければならない。②会員全員参加となる派遣費や引率人数制限等。今後の練習状況も含めて、遠征派遣や受益者負担、イベント参加の選抜基準・学校側への日程調整を設け、取り組んでいくことを留意した。活動実績に関しては、県外イベントは未実施となったが、交流実施回数と、遠征人数の目標を達成できた。</p>	<p>会員全員参加を選定基準に置き、練習段階からの基本取り組み・環境等を改善していく。県外交流事業・イベント派遣事業を実施し、会員卒業生(一般・学生)を含めた活動範囲を拡げていき、島の魅力を発信する。(誘客促進)</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も他団体・地域との太鼓を通しての文化交流事業や県内・村内イベント等に積極的に参加・実施し、文化継承と島の魅力・情報発信に努め、観光振興・誘客へ繋げていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,848	4,848	3,878	970	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、県外イベント未実施により、不用額(2,152千円)が生じたが、事業趣旨から適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託費については、太鼓発足当時から指導者である為、委託内容に従事・該当する者がいない為、随意契約による契約を妥当であると考えます。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		観光アクセス道路美化緑化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部署名	企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)
事業内容	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	27,500	2,500	4,000	5,000	
		(b) 予算現額	24,045	3,016	4,000	4,089	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,455	516	0	▲ 911	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		24,045	3,016	4,000	4,089	
	B. 執行済額		24,045	2,975	3,913	3,163	
	うち交付金充当額		19,236	2,380	3,130	2,530	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	98.6%	97.8%	77.4%	
予算の状況の説明		・事業計画のとおり、アクセス道路や周回道路等の修景及び美化を実施したが、天候不良や欠勤により、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・アクセス道路及び周辺道路の美化実施:清掃員2名	目標	(10箇所)	(10箇所)	(美化実施:清掃員2名)	(美化実施:清掃員2名)	
		実績	10箇所	10箇所	美化実施:清掃員2名	美化実施:清掃員4名	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	清掃員(常備:4名・臨時:9名)を雇用し、アクセス道路や周回道路の美化修景(10箇所:村内主要道路・村内神社・上陸公園・沖縄県最東端の碑等)を重点的に修景及び美化を実施し、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	・アクセス道路及び周辺道路の美化実施:2,500m	目標	(0箇所)	(10箇所)	(美化実施:2,500m)	(美化実施:2,500m)	()
		実績		10箇所	美化実施:2,500m	美化実施:2,500m	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	観光アクセスに重要な道路や周回道路の修景及び美化を重点的に実施(村内主要道路・村内神社・上陸公園・沖縄県最東端の碑等の2,500m)する事により、観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興が図られた。					

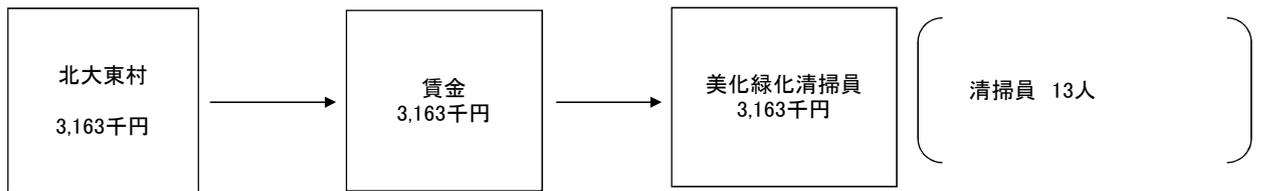
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>アクセス道路や周回道路の修景及び美化を重点的に実施してきた中で、歩行者通路区画線の追加延長や歩道照明・ガードレール・観光地案内板等の設置要望が課題となっていたが、別事業(歩道照明・観光案内板設置事業等)にて、観光地・主要道路への整備が整った。</p>	<p>道路区画整備の追加箇所や歩道照明・観光地までの案内標識設置等についても未設置箇所があり、わかりやすい標識設置の要望があった為、今年度実施(北大東島内街路灯・歩道照明・観光案内板設置事業)。区画周辺・観光地周辺の美化及び修景を継続していく。(次年度も、未設置箇所の照明設置計画・検討)</p>

今後の取り組み方針

観光アクセスに重要な道路や周回道路の修景及び美化については、平成28年度も引き続き実施し、魅力的な観光地づくりに努める。観光案内板・街路灯歩道照明設置は平成27年度に実施し、未設置箇所の歩道照明・区画線追加・未整備箇所については後年度の整備に向け取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,163	3,163	2,530	633	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>○予算規模については、未実施日もあり不用額が生じたが、事業趣旨から適正な規模であったと考えている。</p> <p>○嘱託職員については、村内求人・嘱託職員賃金額と併せて適正に選定しており、妥当であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,000	12,000	12,000		
		(b) 予算現額	11,000	12,000	12,000		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		11,000	12,000	12,000		
	B. 執行済額		9,342	10,338	11,094		
	うち交付金充当額		7,473	8,270	8,875		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		84.9%	86.2%	92.5%		
予算の状況の説明		オンライン授業委託は事業計画どおり実施。授業日数休講等により、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・オンライン双方向授業講師	目標	(5人)	(4人)	(4人)	()	
		実績	5人	4人	4人		
	・オンライン双方向授業受講生徒	目標	(20人)	(35人)	(35人)	()	
		実績	20人	35人	35人		
達成状況説明	オンライン双方向授業にて現役東大生講師の指導の下、児童・生徒の学力向上が図られたほか、学習方法・姿勢が身に付き教育環境格差の解消に繋がった。又、高校受験も全員合格という実績を得られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	・全国学力状況調査における全国平均との差正答率の差を縮小 ①小学校(4ポイント改善)北大東村59点全国平均63点	目標	()	(7～10ポイント)	(7～10ポイント)	(4ポイント)	()
		実績		4～5ポイント	4～5ポイント	5.4ポイント	
	・全国学力状況調査における全国平均との差正答率の差を縮小 ②中学校(6ポイント改善)北大東村46点全国平均52点	目標	()	()	()	(6ポイント)	()
		実績				5.7ポイント	
	進捗状況説明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付き、沖縄県、全国平均との学力差を縮めてきている。中学校の目標数値(正答率)には届かなかったが、学力向上が推進されました。又、高校受験も全員合格の実績を得られた。 ※学力向上率 …… 全国学力状況調査における沖縄県平均、全国平均正答率との差(小学生、中学生の平均値) 沖縄県平均との差 目標 4ポイント縮小(小4.0ポイント、中4.0ポイント) 実績 4ポイント縮小(小3.7ポイント、中4.8ポイント) 全国平均との差 目標 6ポイント縮小(小6.0ポイント、中6.0ポイント) 実績 6ポイント縮小(小5.4ポイント、中5.7ポイント)					

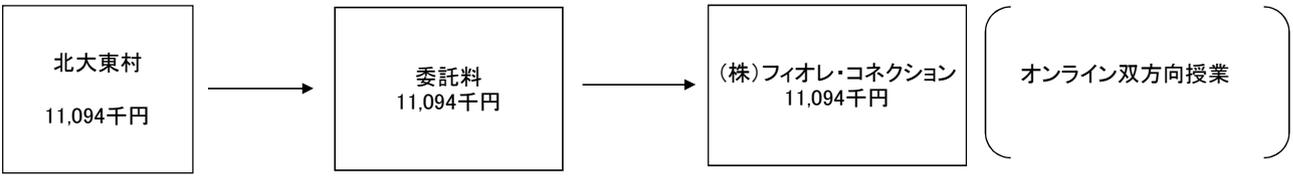
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>事業を実施していく中で、授業の出欠にバラつきのある受講生がいる事など、問題点・課題があった。</p> <p>①家庭学習を優先に終えた生徒を授業に出席させるとしており、家庭学習が終わらなかつたり、部活や学校行事により欠席する生徒がいる。</p> <p>②受講料が無料の為、授業出席率・継続意識が低い。</p> <p>③受講生の授業の理解度に差があるため、個々の受講生の理解度に応じたサポートが必要である。</p> <p>④検定試験(英検・数検)の事前対策授業等の支援。</p> <p>⑤学校側と授業調整を図り、更にサポートの補充が課題。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の出席継続意識を向上させるよう、保護者への事業制度の趣旨・取組の理解を促す。(授業料免除の経緯説明) ・教育環境格差の解消だけではなく、普段の授業に加え受験対策の取り組みや学習方法の指導を実施する。(講師の招聘・現地対面授業を実施) ・学習の遅れがちな生徒に対するサポート体制を構築する。(学習支援員の配置) ・学校側からのサポート補充を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・欠席する際に必ず連絡をさせるなど受講意識の向上を図る。
- ・学習が遅れがちな生徒については、授業中に村営塾の講師でフォローしていけるような体制を作るほか、理解度に応じて班分けし、補習事業を行う、更にサポートが必要な環境を解消する為、学校側と人員の調整を図り、サポートの補充を確保し、学ぶ楽しさと授業態度の改善を図る。
- ・平成27年度は、早期に事業を開始し、学力向上率のアップを図ったので平成28年度も継続を図る。
- ・受験生(中学生)の早期(中学2年生の2学期頃から志望校の選択・レベルに向けて)の受験対策への取り組み・意識改革(2カ月毎の月例テスト)を図り、全体のレベルの底上げを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,094	11,094	8,875	2,219	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>○予算規模については、授業休講日等により、不用額(906千円)が生じたが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。</p> <p>○委託費については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約にて契約は妥当であると考えます。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、村営塾を充実させるため、学習支援員を配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)	7,000	7,500	7,500	8,000		
		4,592	6,998	7,000	8,000		
		▲ 2,408	▲ 502	▲ 500	0		
		—	—	—	—		
	B. 執行済額	4,592	6,897	6,594	6,580		
	うち交付金充当額	3,673	5,517	5,275	5,264		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	98.6%	94.2%	82.3%		
	予算の状況の説明	・嘱託職員賃金の勤務実績が事業計画を下回った為、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	2人	2人	2人	
	・学習支援員の配置:1人	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実績	1人	1人	1人	1人	
達成状況説明	平成27年度も継続して特別支援員(2人)を配置した事により、待機児童の解消目的と2歳児を含む未就学園児に対し、幼稚園の預かり保育が強化された。又、村運営の学習塾へ教育学習支援員(1人)を配置し、児童・生徒を対象に学習支援を実施し、教育環境格差の解消と高校受験全員合格という実績も得られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)	
	・預かり保育を利用する園児数:10人	目標	(0人)	(10人)	(10人)	(10人)	()
		実績		10人	10人	10人	
	・村営塾受講者数:50人	目標	()	(50人)	(50人)	(50人)	()
		実績		50人	50人	50人	
	進捗状況説明	預かり保育事業実施により、待機児童の軽減と、幼稚園入園への障害等(10人:親離れ・人見知り・学習発達・集団活動)を解消した。学習支援員の配置事業実施においては、学習塾受講者(50人)が全校児童・生徒約6割が学習支援を受け、高校受験も全員合格という実績が得られた。					

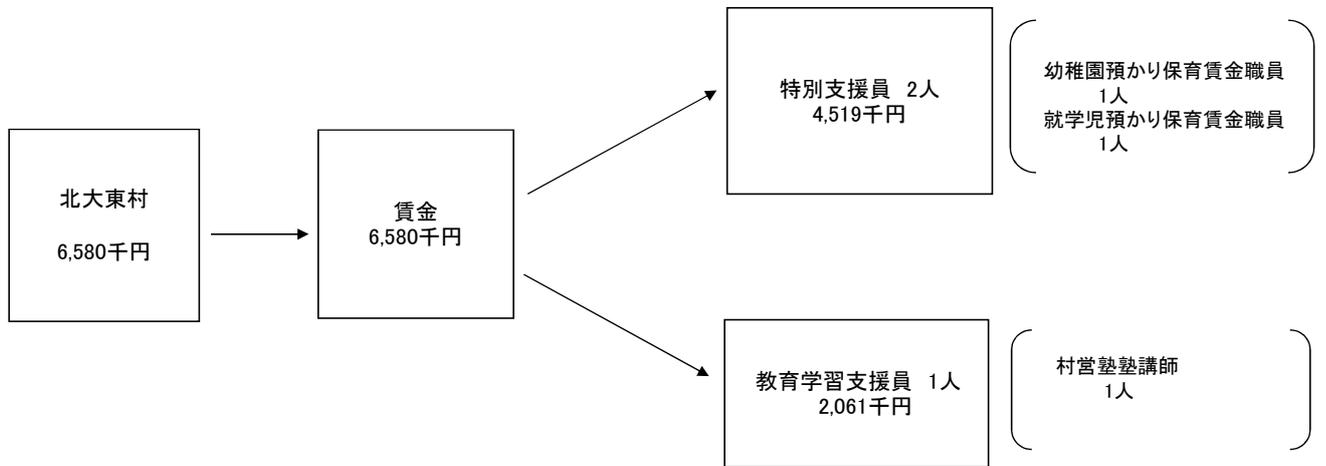
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	特別支援事業を実施する上で、預かり対象年齢(現在満2歳児以降)を下げて欲しいとの要望があった。今後の課題として、子ども園配置(人員確保や時間・人数制限等)を検討。又、対象保護者からは、就労機会の創出に大きく寄与している評価も得られた。学習支援事業では、実績の評価や質・内容・取組方法等が検証された。	現在、満2歳からの対象未就学児を預かり保育へ入所しているが、将来的には、子ども園配置(対象年齢を下げ、配置人員の確保をする事)により、入所幼児の増数・待機児童解消と保護者の就労時間・就労機会の促進につなげられるよう改善する余地がある。学習支援事業では、実績の評価や授業取組内容等が委員会・保護者等へ検証報告があった。

今後の取り組み方針

特別支援事業の預かり対象年齢の引下げや人員確保の課題を検討し、子ども園設置に向けて協議。待機児童解消を図る。預ける保護者が安心して就労できる環境を提供していくよう改善していく方針。学習支援事業については、平成28年度実施事業(オンライン双方向授業支援モデル事業)を村営塾と絡ませて、受講生徒数の増員と全国学力状況調査の正答率向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,580	6,580	5,264	1,316	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、預かり未実施・休講日等があり執行残が生じたが、事業趣旨から概ね妥当な予算規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○囑託職員については、村内求人・囑託職員金額に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	離島の児童の交流促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学习における渡航費の支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	3,000	2,500	3,500	
		(b) 予算現額	1,584	2,602	2,614	3,044	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,416	▲ 398	114	▲ 456	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)		1,584	2,602	2,614	3,044	
	B. 執行済額		1,584	2,435	2,403	2,699	
	うち交付金充当額		1,267	1,948	1,922	2,159	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	93.6%	91.9%	88.7%	
予算の状況の説明		スポーツや他校との交流学习派遣費に未実施交流事業があった為、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・渡航助成の実施	目標	(20人)	(30人)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	20人	30人	30人	実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学習・文化交流(那覇市・金城小学校・小禄中学校、那覇地区中学校文化・音楽祭)やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)による本島への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)	
	・スポーツや交流学习等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	目標	(0人)	(30人)	(30人)	(30人)	()
		実績		30人	30人	30人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	交流促進事業の実施により、他校(那覇市・金城小学校・小禄中学校、那覇地区中学校文化・音楽祭)との文化交流が図られた事やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)においては、地区大会上位実績・県大会派遣への意欲や技術・精神面での向上に繋がる成果が得られた。						

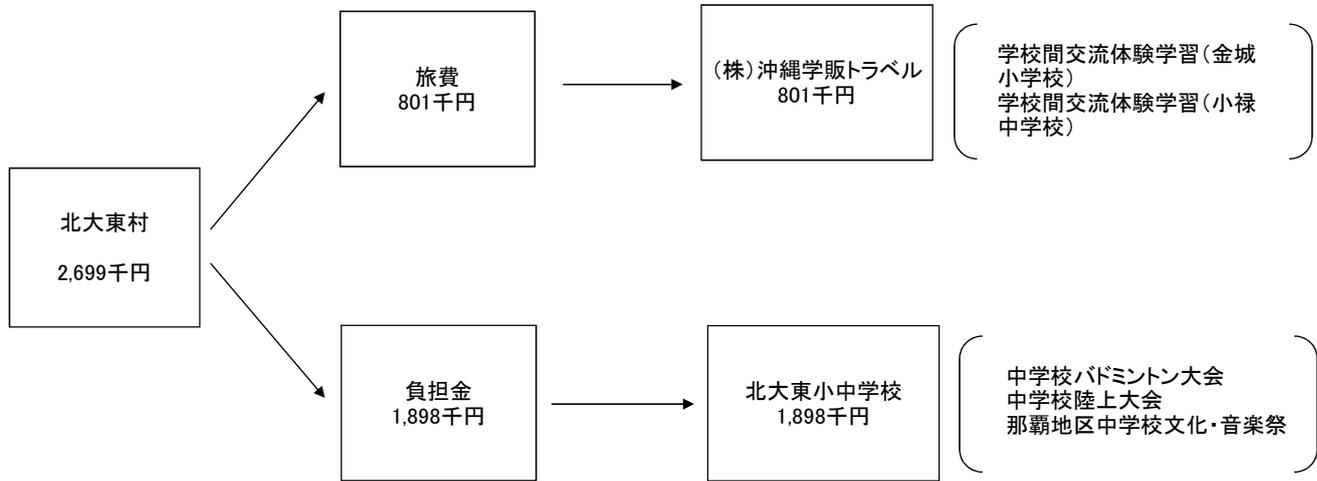
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>交流促進事業を実施してきた中で、継続して他校との交流事業や競技大会派遣への移動費助成は、該当保護者・教育関係者のみならず、地域の要望・必要性の要望がある。(小規模校・小団体のため、大規模校や競技大会では、萎縮してしまい、十分に実力を発揮できない。そのような事から、普段から他校や各種競技大会への参加・出場で交流を重ね、高校進学による本島での生徒交流の障害解消へと繋げていきたい。)①スポーツ派遣での助成対象(県外)の拡充も課題となっている。</p>	<p>現在、小・中学校の児童生徒が本島内の他校との交流学習を実施するための移動費助成を行っているが、沖縄本島内での交流学習を実施している学校を地元で招聘し、他校児童生徒の交流学習を図っていく。</p>

今後の取り組み方針

平成28年度も実施継続していくが、今後は、学習交流を計画・実施している類似校との児童・生徒交流事業に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,699	2,699	2,159	540	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>○予算規模については、未実施事業があり執行残が生じたが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。</p> <p>○受益者との負担関係については、事前の設定どおり受益者負担を行っており、妥当であると考えます。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村
------	------

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	離島特別医療質確保推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-9

事業内容
離島の不利益を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,000	500	1,000	3,000	
	(b) 予算現額	179	1,400	1,904	3,456	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,821	900	904	456	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	179	1,400	1,904	3,456	
	B. 執行済額	179	1,046	1,831	3,136	
	うち交付金充当額	143	836	1,465	2,508	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	74.7%	96.2%	90.7%	
予算の状況の説明		・補助件数が当初計画していた件数を上回った為、補助金を事業間流用補正にて増額した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		・妊婦検診助成の実施	目標 (5回/1人)	(5回/1人)	(助成の実施)
	実績	5回/1人	3.4回/1人	4回/1人	実施
	・特定重病患者の検診助成の実施	目標 ()	()	()	(助成の実施)
	実績				実施
達成状況説明	島内で受診対応出来ない、妊婦検診(13人/61回)・特定重病患者検診(16人/35回)医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。事業制度の周知が図られ助成妊婦・特定重病患者対象者は増加したが、検診渡航回数が少なく活動目標の数値を下回った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)		
		・妊婦検診助成回数(延べ数):50回H26年度:6回/1人	目標 (0回)	(5回/1人)	(30回(5回/1人))	(50回(6回/1人))	()	
			実績		3.4回/1人	60回(4回/1人)	61回(4.7回/1人)	
		・特定重病患者(延べ数):16回	目標 ()	()	()	(16回(4回/1人))	()	
	実績				35回(2.9回/1人)			
進捗状況説明	妊婦助成(13人/61回)・特定重病患者(16人/35回)の方が、助成申請・支援を受けた。、妊婦助成(継続)・特定重病患者(新規)実施した取組により、事業の認知・周知性が高まり事業制度が活用された。事業制度の周知が図られ助成妊婦・特定重病患者対象者に活用されたが、検診渡航回数が少なく成果目標の1人平均利用回数を下回った。							

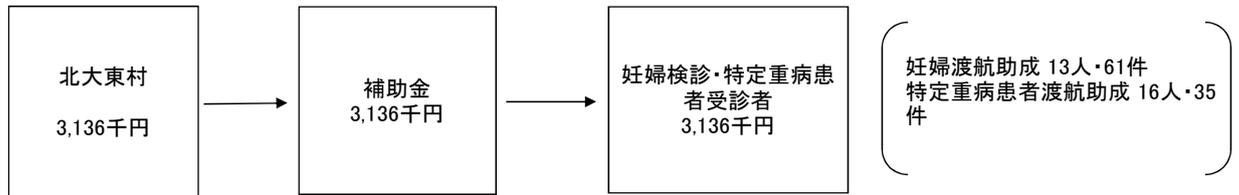
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	妊婦・特定重病患者への助成事業を推進していく中で、税滞納者の有無確認や渡航助成金を前払いの要望等が課題となっている。今後も事業継続・必要性もあるので、確認の徹底や申請者の手続きによる負担軽減に努める。	妊婦・特定重病患者受診の助成制度の活用・促進を促していく為、税・公共料金等の滞納該当者の有無確認と納付強化に努め、渡航助成費の概算(前払い)によって立替経費負担軽減への取り組みと不利益条件格差の解消・定住化を図る。

今後の取り組み方針

平成27年度からは特定重病患者の島外医療サービスの渡航費助成と合わせての実施しており、今後も継続・制度の周知を徹底しながら、助成費概算払いによる受益者への立替経費負担軽減を図る。制度活用していく中で、村税・公共料金等の納付強化と滞納者皆無に仕組み少子化問題解消・高齢者定住化へ繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,136	3,136	2,508	628	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については、事業内容から概ね妥当な予算規模であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○受益者との負担関係については、事前の設定どおり受益者負担を行っており、妥当であると考えます。

市町村名	北大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	北大東村景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,250	10,250			
		(b) 予算現額	14,250	10,250			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)		14,250	10,250			
	B. 執行済額		8,964	9,571			
	うち交付金充当額		7,171	7,656			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		62.9%	93.4%			
予算の状況の説明		事業計画のとおり、海岸道路沿いの景観形成整備を実施した。入札残により、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の実施:400m	目標	(50m)	(400m)	()	()	
		実績	50m	400m			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備を進める中、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境整備によって、観光誘致へ繋げるよう西港から北港向けへ景観形成の環境整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の完了:400m(進捗率4.4%(全長9,000m))	目標	(0回)	(9,000m)	(400m)	()	()
		実績		9,000m	400m		
	・村一周海岸道路の植樹環境整備 雑木伐採等の完了:400m(進捗率4.4%(全長9,000m))	目標	(0回)	(50m)	(400m)	()	()
		実績		50m	400m		
	進捗状況説明	平成29年度の漁港完成に伴い、新規事業・雇用の創出や他方からの漁業利用者等が期待できる。又、マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備が進んでいる。そこで、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境整備によって観光誘致へ向け、西港から北港向け(400m)へ景観形成の環境整備を行った。次年度以降も継続実施する。					

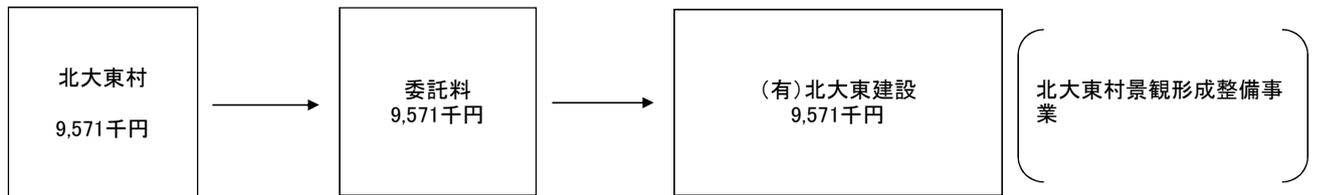
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>景観形成整備の植樹箇所選定が課題となった。(岩礁・風景の環境配慮・潮害影響の少ない箇所)①全長(9,000m)を6~7年に分けて整備していく。②植樹後の管理への経費。</p>	<p>平成27年度から景観形成整備を実施。全長9,000mを6~7年度整備に向けて、村特有の岩礁や風景・周辺環境に配慮し、地域性に適合する植樹・景観整備を行う。観光客誘致・増加(1,000~1,500増)と観光産業振興(空港~各漁港への開通)が図れるよう取り組んでいく。</p>

今後の取り組み方針

平成27年度から、全長9,000mを6~7年度整備に向けて、景観形成整備を実施。村特有の岩礁や風景を活かし、地域性に適合した植樹・景観形成整備を行い、観光客等の受入体制と誘客・観光産業振興に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,571	9,571	7,656	1,915	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>○予算規模については、入札残が発生し、不用額(679千円)があるが、概ね妥当な予算規模であったと考えている。</p> <p>○委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	北大東島内街路灯・歩道照明設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等からの街路灯・歩道照明の不足や老朽化が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	(a) 当初予算額	80,000					
	(b) 予算現額	80,911					
	(c) 増減額 (b-a)	911					
	(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	80,911					
	B. 執行済額	80,910					
	うち交付金充当額	64,728					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・事業計画どおり島内主要道路の街路灯照明設置事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	・島内主要道路の街灯照明設置:街路灯:104箇所設計監理・工事の実施	目標	(104箇所)	()	()	()	
		実績	41個				
	・島内主要歩道の街灯照明設置:歩道照明:1,290個設計監理・工事の実施	目標	(1,290個)	()	()	()	
		実績	0個				
達成状況説明	三箇所の字で形成されている本村は、密接集落が無い為、集落以外の周辺は、街路灯・歩道照明が設置されていない。観光客や車両運転手・歩行者等からの設置要望や不足・老朽化が指摘されていた。防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明設置の整備を行った。当初、設置計画予定の街灯との耐久性や単価等から差額が生じた為、設置計画箇所の半分を下回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(23年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	・島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m	目標	()	(26,000m)	()	()	()
		実績		26,000m			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	三箇所の字で形成されている本村は、密接集落が無い為、集落以外の周辺は、街路灯・歩道照明が設置されていない。観光客や車両運転手・歩行者等からの設置要望や不足・老朽化が指摘されていた。防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明設置の整備によって、車両運転手・歩行者等が夜間も安心・安全に利用が図られた。 ※(活動目標は、設置数未達成だが設置箇所は全体(26,000m)の主要・優先箇所に設置している為、26,000mを表記。)					

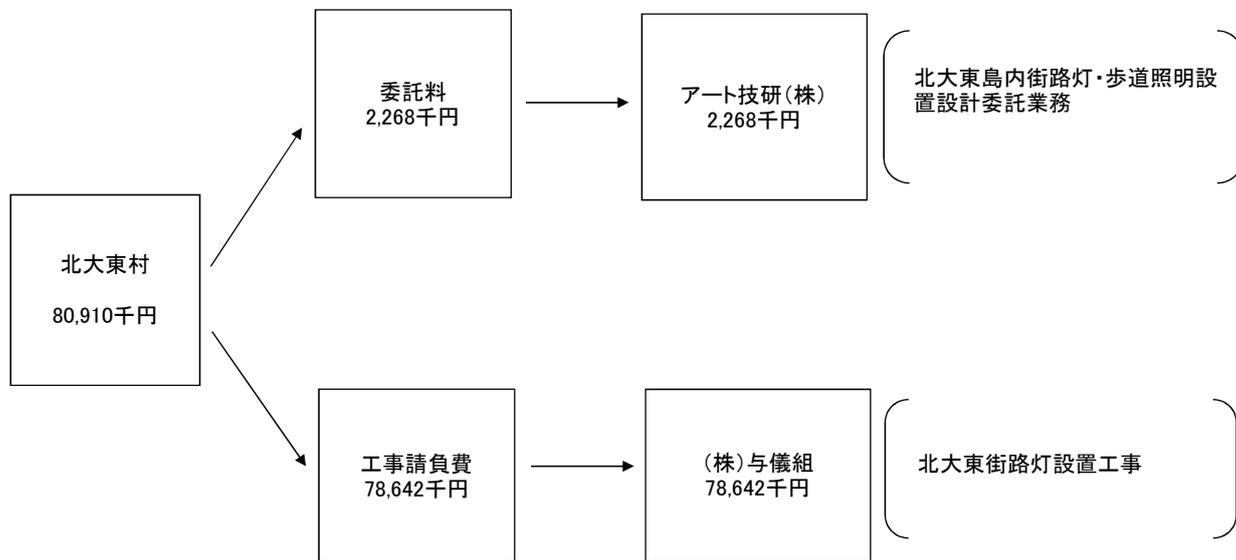
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	街路灯・歩道照明を設置していく中で、街路灯・歩道照明の不足や安全性が指摘されていた。断線による停電の改善や観光客の受入体制の景観整備・車両運転手・歩行者等の安全・防犯・防災の観点から当該施設設置の要望があった。①設置計画の街灯と本設置街灯との耐久性や単価差の見直し。②主要・優先箇所からの設置の検討。	維持管理・環境面を考慮し、LED照明を設置する事で、防災・防犯・安全・生活環境を整え、充実した安心安全の確保と住みよい環境・地域づくりが図られた。

今後の取り組み方針

台風災害等の配電基盤破損や断線による停電時の支障が改善でき、環境面や車両運転手・歩行者等の防犯・防災・安全・安心の地域づくりが構築された。平成28年度も未整備の設置箇所の整備に取り組む為、製品の耐久性や単価の見直し等を協議し、充実した環境・地域づくりに図りたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
80,910	80,910	64,728	16,182	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○予算規模については、製品品質・耐久性等を勘案して事業内容趣旨から妥当な予算規模であったと考えている。 ○委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	北大東島内観光案内板設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	北大東島観光に訪れる観光客への受入体制に向け、観光案内板の設置整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,000				
		(b) 予算現額	35,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		35,000				
	B. 執行済額		34,236				
	うち交付金充当額		27,388				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		97.8%				
予算の状況の説明		・事業計画どおり島内観光案内板設置事業を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	・島内観光箇所への案内板の設置:島内12箇所 設計監理・工事の実施	目標	(12箇所)	()	()	()	
		実績	12箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	島を訪れる観光客への観光名所・箇所への移動手段に必要な案内板が無いことから、移動に多大な支障をきたしていた。観光地移動の利便性を図る為、観光案内板設置整備(12箇所)を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	・島内観光箇所への案内板の設置の完了:観光客誘致体制の構築(島内12箇所)	目標	()	(12箇所)	()	()	()
		実績		12箇所			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	島を訪れる観光客への観光名所・箇所への移動手段に必要な案内板が無いことから、移動に多大な支障をきたしていた。島内12箇所に案内板を設置する事により、観光地移動の充実した利便性が図られ、観光誘致・産業振興へ繋がった。					

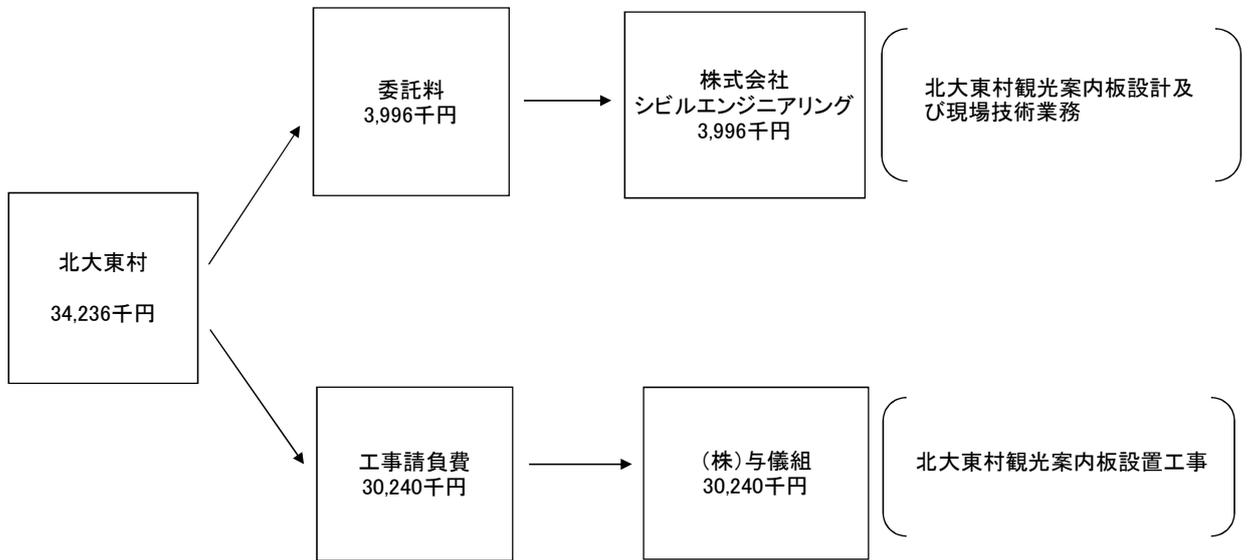
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光案内板・道標を設置していく中で、観光業関係者・観光客への移動手段に必要な案内板の新規・追加設置要望が課題となった。設置する案内板の維持・耐久性等の協議があった。	維持・耐久性・案内表示の明確化・環境面を考慮し、地域性を生かした未利用資源(石灰岩)にて形成する事で、村特有の観光案内板が設置でき、観光地・箇所への充実した移動案内が図られた。

今後の取り組み方針

従来までの観光地・目的地への案内不便の支障が改善でき、未利用資源活用等によって村特有(オリジナル)・耐久性・環境面に考慮でき、観光誘致・産業振興が構築された。今後、未整備・設置要望等を検討・協議し、必要に応じて整備に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
34,236	34,236	27,388	6,848	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○予算規模については、入札残により執行残が発生したが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。 ○委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	